

表彰台を逃すも、開幕から3戦連続入賞!!

2014スーパーGT開幕戦で見事優勝を果たしたKeePer TOM'S RC F。
富士スピードウェイ（静岡）、オートポリス（大分）と続く第2・3戦でも好調を維持。
第2戦で通常よりも長い500kmの長丁場、第3戦は30度を超える猛暑と厳しい条件でのレースが続いたが、
開幕から優勝を含む3戦連続の入賞! シリーズチャンピオンに向けて好発進を切った。






第2戦「FUJI GT 500KM RACE」富士スピードウェイ

終盤の猛追が実り、5位入賞！

開幕戦を制し、ポイントリーダーで迎えた第2戦の舞台は、レクサス勢のホームグラウンドでもある富士スピードウェイ。
延べ8万9400人の観客が見守る中、レースはGT-RとRC Fによるスピード最速決定戦に相応しい白熱の展開を見せた。



【予選】最重量ハンデを受け、苦しい8位通過

開幕戦の優勝により、参戦チーム中最も重い40kgのウェイトを積んで第2戦に臨んだKeePer TOM'S RC F。予選Q1はエースドライバー伊藤大輔が6位で通過し、続くQ2でもカルダレッリが懸命のタイムアタックを見せる。しかし他のマシンもQ1からタイムを伸ばし、決勝は8番手からのスタート に。PPは2番手にコンマ5秒の差をつけた12号車が獲得し、続く2・3番手もGT-R勢が独占。レクサス勢には悔しい予選結果となった。

【決勝前半】波乱を予感させる2度のセーフティカーラン

予選に引き続き、好天に恵まれた決勝当日。GT-R勢を先頭にスタートを切ったGT500クラスはトップの12号車が序盤から逃げる展開。そんな中、5周目にGT300クラスのマシンが激しくクラッシュし、早くも1回目のセーフティカー（SC）が導入される。

その後、レースリスタート直後のコカ・コーラコーナー手前で伊藤は一つ前を走る39号車をかわし7位に浮上。勢いそのままに追走体勢に入るも、今度は19周目に2位を走る46号車から突如火の手があがり、再びSCが導入。序盤から波乱を予感させる展開となった。

レースは22周目にリスタートされ、36周目に差し掛かるころにはトップ争いを繰り広げるマシンを先頭に続々とピットへ戻ってくる。伊藤は41周目に7位でピットイン。ここで、ドライバーをカルダレッリに交代してセカンドスティントを戦うことに。

【決勝後半】チェッカー目前に意地のオーバーテイク！

ピットインでの攻防後、8位でコースへ戻るカルダレッリ。59周目には1台をオーバーテイクし、63周目にはトップを快走していた23号車のトラブル離脱により6位に順位をあげる。さらに70周目にはGT300クラスの集団に追いついた混乱の隙をつき、39号車を鮮やかにかわして一気に5位へ！

79周目には2回目のピットイン。再び伊藤にチェンジしてチェッカーを目指す。ピットインで1つ順位を落としたものの、残り10周の時点で前を走る39号車とは7秒差。ここで伊藤が最後のスパートをかける。残り6周には3秒差、その2周後には0・6秒差で射程圏内へ！そして残り2周、39号車との激しいバトルを制してそのままフィニッシュ。チェッカー目前のオーバーテイクで5位入賞を果たした。

第3戦「SUPER GT IN KYUSHU 300KM」オートポリス

あと一歩届かず、悔しい4位入賞

新規参戦となる外国人ドライバーを中心に、コースでの走行データが少ない新型マシンとドライバーの習熟という2つの課題をもって臨むが、
不安をよそにドライバーたちはコースレコードを次々と更新。各チームが国内最高峰レースに参戦するプライドを見せたレースとなった。



【予選】余力を残し、5位で決勝へ

参加チーム中2番目に重い52kgのウェイトとなったKeePer TOM'S RC F。新ルール（50kg以上のマシンは燃料リストリクター縮小）により、実質2kgのウェイト＋リストリクターハンデを背負うものの、公式練習では5番手のタイムを記録。予選Q1で他のマシンがクラッシュし、赤旗が振られてタイムを記録できないマシンがいる中、早めのタイムアタックという作戦が功を奏し、タイヤを温存しながらのQ2進出に成功する。続くQ2では、ポイントリーダーの12号車に次ぐ5番手のポジションを獲得した。

【決勝前半】逃げるGT-R、追うRC F

30度を超える猛暑の中、各車熱によるタイヤの性能低下を警戒しながらの静かなスタートで幕を切った決勝。スタートドライバーのカルダレッリは、前を行く12号車をピタリとマークし、背後からプレッシャーをかけ続ける。そして9周目でとらえ、早々に4位へ浮上。さらにすぐ前を走る1号車を追走し、再びチャンスをうかがう。

13周目に差し掛かる頃、6位まで順位を上げてきた36号車を含め、計4台が激しい3位争いを展開。まずはカルダレッリが1号車を追い抜くタイミングをうかがっていると、一瞬の隙をつかれて後走の12号車にかわされる。しかし、次の周で12号車が1号車をとらえると、続いてカルダレッリも1号車をかわし再び4位へ。その後、36号車に抜かれて5位に後退するも、スタートポジションを維持して30周目にピットイン。ここで伊藤にドライバーチェンジする。

【決勝後半】終盤のアタックも届かず、4位でフィニッシュ

ピットワークで5秒近くのタイムを失うも、アウトラップからペースアップ。順位を維持したまま、他のマシンのピットインを待つ展開に。5周後、ピット作業を終えた36号車がコースオフを喫する間に順位を1つあげる。その後レースは落ち着きを見せるも、48周目に1コーナーでGT300クラスのマシンが大クラッシュ。直後SCが8周にわたって導入され、残り9周となったところで各車ギャップをリセットした形でレース再開となる。3位とは10秒以上の差があるが、残りの周回で表彰台を狙う。前を走る12号車とのシリーズポイントの差を縮めたい伊藤は、途中36号車との交錯、GT300クラスとの軽い接触もありながら決死のアタックを見せる！しかし、あと一歩届かず僅差での4位フィニッシュとなった。

2014年度スーパーGT スケジュール

第4戦 スポーツランドSUGO	公式予選 7/19（土）	決勝 7/20（日）
第5戦 富士スピードウェイ	公式予選 8/9（土）	決勝 8/10（日）
第6戦 鈴鹿サーキット	公式予選 8/30（土）	決勝 8/31（日）
第7戦 ブリラム ユナイテッドインターナショナルサーキット（タイ）	公式予選 10/4（土）	決勝 10/5（日）
第8戦 ツインリンクもてぎ	公式予選 11/15（土）	決勝 1/16（日）



●スーパー GT 開幕戦の模様が YouTube でご覧いただけます。YouTube［開幕戦優勝 キーパー］検索

「#37 KeePer TOM'S RC F」を応援しよう! 企画 第2弾

巻末のハガキにてふるってご応募ください!



8/9(土)・10(日)スーパーGT第5戦 富士スピードウェイ（静岡県） ペア20組40名様
8/30(土)・31(日)スーパーGT第6戦 鈴鹿サーキット（三重県） ペア20組40名様
観戦チケット（予選・決勝共通券）を合計ペア40組80名様にプレゼント

キーパーコーティングをご愛顧の多くの皆様をスーパーGTにご招待します!「KeePer TOM'S RC F」のピット前グランドスタンド席を陣取り、そろいのキャップで盛り上がりましょう!

応募締切 第5戦 富士スピードウェイ 8/1（金）消印有効
第6戦 鈴鹿サーキット 8/22（金）消印有効

※各会場までの交通費は各自ご負担でお願いします。
※当選者の発表は、発送をもって替えさせていただきます。

この企画に関するお問合せは…アイ・タック技研（株） 0120-517-158